

平成 27 年 4 月から平成 29 年 6 月までに

### 3 次元経胸壁心エコー及び酸素消費量測定が施行された患者さんへのお知らせ

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた情報の記録に基づき実施する研究です。このような研究は、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（平成 26 年 12 月 22 日制定、平成 29 年 2 月 28 日一部改正）」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。この研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の診療情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

1. 研究課題名：全身代謝活性が重症大動脈弁狭窄症の心拍出量に与える影響
2. 研究期間：平成 29 年 7 月～平成 32(2020)年 3 月
3. 研究機関：産業医科大学病院 循環器内科
4. 実施責任者：産業医科大学医学部第 2 内科学 学内講師 岩瀧麻衣
5. 研究の目的：大動脈弁狭窄症で心拍出量が低下する原因の解明。
6. 研究の方法：既に測定された 3 次元経胸壁心エコーの画像から左室の大きさと心拍出量を求めます。また、測定された呼気ガスから全身代謝活性を算出し、心拍出量との関連を調べます。さらに、カルテ情報を利用して、それらに影響を与えうる因子を検討します。
7. 個人情報の取り扱い：データの管理は被験者番号等で行い、氏名など個人情報が外部に漏れることがないよう十分留意します。この研究で得られたデータは論文発表後 3 年間保存された後、匿名化を確認し廃棄します。利用

の拒否を申し出られた際は、その時点までに得られた個人情報、直ちに同様の方法で廃棄します。

8. 問い合わせ先：産業医科大学医学部第2内科学 学内講師 岩瀧麻衣 093-603-1611

9. その他：本研究参加による直接的な利益はありません。本研究では対象者に経済的負担は発生しません。

対象者に謝礼はありません。また、本研究の成果に基づいて、特許権などの知的財産権が生ずる可能性もありますが、

その権利は産業医科大学に帰属し、対象者には知的財産権は発生しません。